

「SNSを活用した学校情報の発信」

熊本県立菊池農業高等学校 情報処理班

1. 研究の動機

本校では、入学者数の減少が大きな課題となっている。そこで菊池農業高校の良さを広く中学生にアピールし、興味を持ってもらうことについて検討した。そして発案されたのが若者に人気のあるSNSの活用で、Instagram、Twitter、Facebook、YouTubeを通して学校情報の発信をすることとした。

2. 研究の内容

学校公式SNSアカウントの開設する



写真や動画を撮影し加工や編集をする



各SNSに投稿し、運用を継続する



より良い情報発信のためのアイデアを検討する



3. 研究を通して工夫したこと

写真を撮るときに人の顔や体を写さないようにしたり、著作権違反になるような画像やイラストは使用しないなどの工夫をした。また、人が不快になるような写真や、学校の評価を下げるような写真を出さないようにした。さらに、毎回ミーティングをしてアイデアを出しあったり、Googleフォトで写真を共有して、いつでもどこでも写真を出せるように皆で協力した。

4. 研究の結果

(1) フォロワー・登録者の分析

大きな仕掛けとして取り組んだ「全校集会でのSNSのアピール」と「近隣中学校へのチラシの配布」後のフォロワー等の伸びを期待した。しかし、伸びが見られず、その理由として「自分の学校名が知られてしまう」といった生徒達の不安が影響したようで厳しい結果となった。その様な中でも、クラスメート等から「SNS見たよ」や「フォローはしないけど見ているよ」との声かけがあったり、先生からもメールを送られ、ある程度の手ごたえを感じることができた。

(2) 入学試験受験者数の推移と中学生の視聴状況について

「実際に中学生が本校公式SNSを視聴し、有効な情報源となったのか」と「入学者の勧誘に結びついて入試受験者が増加したのか」については、後輩達に今後調査を引き継いで、検証していきたいと思っている。

5. 感想・今後に向けて

私たちの取り組んだ本研究は、学校の活性化のために寄与するという壮大な内容で、一言で言って難しかった。しかし、発生した色々な課題を克服し、実際にInstagram、Twitter、Facebook、YouTubeの学校公式SNSを開設し、情報発信を続けてきたこと自体が大変価値あることだと自負している。今後の情報発信の継続と学校の活性化を見守り続けていきたいと思っている。